

2025 年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏 名
経営学部	教授	寺島雅隆
最終学歴	学 位	専門分野
中京大学大学院 経営学研究科 博士後期課程修了	博士	経営学

I 教育活動

○理念・目標・方針・計画（方法）

【理念】

学生に真面目に接し、信頼する。

【目標】

産業社会に有用な人材育成に寄与すると共に、学生の学力向上と健やかな学生生活を支援する。

【方針】

社会科学的知見と多様性に基づいて対処する。

【計画（方法）】

- ・個々の学生のニーズを把握し、信頼をコミュニケーションとする。
- ・ゼミナール学生に「オンリーワン」の獲得を促す。
- ・教員と学生間、および学生間の友愛を育む授業運営を心掛ける。

○担当科目（前期・後期）

（前期）

アントレプレナーシップ入門、アントレプレナー精神、ビジネスモデル構築論、経営管理論、基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅲ

（後期）

アントレプレナーシップ論、新規事業論、東邦プロジェクト、基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅱ、専門演習Ⅳ

○教育方法の実践

後期「東邦プロジェクト」において、学生起業家である株式会社 musbun の鈴村萌芽社長のアプリを活用して、地域ボランティアおよび地域インターシップをおこなった。さらに musbun 本社の stationAI を訪問し、鈴村社長と伊豫田社員から授業を聴講した。

○作成した教科書・教材

- ・チャン ティ トウイエット ニュン, 寺島雅隆 (2026) 『日本企業の経営管理がよくわかる！ 経営管理論』三恵社（第2版）

○自己評価

一度も休講することなく、授業に専念することができた。来年度も体調を整え、励んでいきたい。

II 研究活動

○研究課題

企業と起業

○目標・計画

【目標】

日本企業の経営や日本人の経営者の特徴の一端を明らかにする

【計画】

定性調査を含めてフィールド調査を行う

○2018年4月から2026年3月の研究業績（特許等を含む）

（著書）

- ・寺島雅隆（2021）『障害者の経営学-雇用から起業へ』三恵社
- ・寺島雅隆（2022）『救貧の正当性—なぜ障害者を救うのか—』デザインエッグ社
- ・寺島雅隆（2022）『障害者の経営学-雇用から起業へ』三恵社、（第2版）
- ・チャン ティ トウイェト ニュン，寺島雅隆（2025）『日本企業の経営管理がよくわかる！ 経営管理論』三恵社
- ・チャン ティ トウイェト ニュン，寺島雅隆（2026）『日本企業の経営管理がよくわかる！ 経営管理論』三恵社、（第2版）
- ・寺島雅隆&松井慶太（2026）「第2章 就職活動における10年間の変化—愛知東邦大学の人間健康学部における就職分析—」愛知東邦大学地域創造研究所編『大学キャリア支援の実践と可能性』『地域創造研究叢書』No.39、唯学書房

（学術論文）

- ・寺島雅隆，鄭南（2020）「日本残障者就業現状及相关社会政策支持研究」『社会政策研究』No.19(02)、pp.66-78、（査読あり）
- ・寺島雅隆，チャン ティ トウイェト ニュン（2024）「シラバス分析による「経営管理論」の経年的変化—テキストマイニングを用いた探索的研究—」『東邦学誌』53(2)、1-16
- ・寺島雅隆（2025）学生起業家における起業動機と教育の関係性—アントレプレナーシップはどのように培われるか—」『東邦学誌』54(1)、19-30
- ・寺島雅隆&チャン ティ トウイェト ニュン（2025）「学生が望む大学授業とは何か —『経営管理論』授業アンケートの分析から—」『東邦学誌』54(2)、25-40

（学会発表）

- ・寺島雅隆「Disability Employment」城乡文化社会转型与东亚青年发展在线研讨会、吉林大学哲学社会学院、2022年8月
- ・Terashima Masataka: “Research Trends and Current Entrepreneurship in Disability Entrepreneurship: Based on literature review and field research” The 5th East Asia Village Development Forum: East Asian Experience in Integrated Rural-Urban Development, Institute of Contemporary Korean Studies, 2024.8.23(Academy of Korean Studies, Republic of Korea)
- ・寺島雅隆「学生起業家における起業動機と教育の関係性—アントレプレナーシップはどのように培われるか—」経営哲学学会、2025年8月

(特許)

なし

(その他)

○エッセイ

寺島雅隆 (2019) 「脳出血から職場復帰：身体障害者 2 級となって」『障害学研究』障害学研究編集委員会 編 (15) 91-98

○雑誌掲載：対談形式

「視覚障害者の起業について考える」『月刊視覚障害』(2024.1 発行)

○書評

寺島雅隆 (2025) 「書評：『日本中小企業小史－中小企業の歩みと日本社会－』(寺岡寛著)」『中小企業季報』2024 No.4 (2025.1.20 発行)

○査読

『日本中小企業学会誌』 論文査読 (2025)

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況 (学内外)

- ・ 学内 2024 年度 短期共同研究助成「経営管理論の系統的レビュー部会」主査
- ・ 学内 2024-25 年度 共同研究助成「キャリア支援研究部会」(主査：手嶋慎介教授)
- ・ 学内 2024 年度出版助成『日本企業の経営管理がよくわかる！ 経営管理論』三恵社
- ・ 学内 2025-26 年度 共同研究助成「イノベーション創出可能性部会」副査 (主査：チャン ティ トウイェト ニュン准教授)

○所属学会

日本ベンチャー学会、日本中小企業学会、障害学会、キルケゴール協会

○自己評価

学会発表 1、論文 2、共著 2、査読 1 であった。論文と共著のうち各 1 本はチャン先生との共同研究によるものであり、来年度も共同研究を進めていきたい。

Ⅲ 大学運営

○目標・計画

【目標】

建学の精神に則り、真面目に業務にあたる。

【計画】

- ・ 与えられた職務を全うする。
- ・ 委員会に関連する業務を意識しておこなう。

○学内委員等

地域創造研究所運営委員会

総務委員会

○自己評価

委員会の会議には休むことなく、出席できた。来年度も体調を整え、励んでいきたい。

IV 社会貢献

○目標・計画

【目標】

授業を通じて地域貢献活動を模索する。

【計画】

ゲストスピーカーの方々と関わり、学生と取り組めるプロジェクトを模索する。

○学会活動等

なし

○地域連携・社会貢献等

ゲストスピーカーを6名招くことができた。うち2名は本学卒業生であり、起業家として活躍する姿を学生に紹介できたことは良かったと感じている。

○自己評価

以前、ゲストスピーカーとして招いた日野紗里亜氏が国民民主党から衆議院議員として2回当選した。当時の学生からも応援があり、今後のバタフライエフェクトを期待している。

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等）

体調管理をしっかりし、業務を遂行する。

VI 総括

教育、研究、大学運営ともに滞りなくできたのではないかと考えている。特に教育は、私の成果ではないが、4年ゼミ生9名のうち2名が上場企業に就職することができた。これからも本学から社会で活躍できる人材の輩出に貢献していきたい。

以 上